



キノコに要注意！

食中毒は毎年発生！危険なキノコが身近にあります

絶対

食用のキノコだと確実に判断できないキノコは

採らない！ 食べない！

売らない！ 人にあげない！

- ◆ キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！
- ◆ 気温の高い夏の後に適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生する可能性があります

ツキヨタケ



中毒症状

食後30分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の中毒を起こす。

間違えやすい食用きのこ

- ・ヒラタケ
- ・ムキタケ
- ・シイタケ

テングタケ

中毒症状

食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。



神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣等で、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。

クサウラベニタケ



中毒症状

食後20分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。

間違えやすい食用きのこ

- ・ウラベニホテイシメジ
- ・ホンシメジ
- ・ハタケシメジ

ドクツルタケ

中毒症状

食後6-24時間程度でコレラ様の症状（嘔吐、下痢、腹痛）が現れるが1日でおさまる。



その後24-72時間程度で内臓の細胞が破壊され肝臓肥大、黄疸、胃腸の出血などの肝臓、腎機能障害が現れ、死亡する場合があります。

※出典：厚生労働省ウェブサイト（自然毒のリスクプロファイル）

毒キノコによる食中毒発生状況（平成27年～令和6年）

キノコの種類	間違えやすい食用キノコの例 （「自然毒のリスクプロファイル」より）	事件数	患者数	死者数
ツキヨタケ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ	110	305	0
クサウラベニタケ	ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	※35	※102	※0
テングダケ	—	16	26	0
ドクササコ	ナラタケ、ホテイシメジ、アカハツ、チチタケ	7	13	0
イボテングタケ	—	4	5	0
カキシメジ	ニセアブラシメジ、チャナメツムタケ、シイタケ	9	30	0
イッポンシメジ	—	※4	※7	※0
オオシロカラカサタケ	—	10	16	0
ニガクリタケ	ナメコ、クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ	0	0	0
オオワライタケ	—	0	0	0
ニセショウロ	—	2	3	0
ハイイロシメジ	—	1	3	0
ヒカゲシビレタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	1	2	0
タマゴダケモドキ	キタマゴタケ	2	2	0
ドクツルタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	※※3	※※4	※※2
ニセクロハツ	クロハツ、クロハツモドキ	2	2	1
オオシビレタケ	—	0	0	0
カブラアセタケ	—	1	1	0
その他	—	※※15	※※38	※※1
不明	—	15	38	1
合計		237	597	5

※イッポンシメジ、クサウラベニタケが疑われるのでイッポンシメジ、クサウラベニタケの両方に計上している（R3年）。
※※ドクツルタケ、コテングタケモドキが疑われるので、両方に計上している（R6年）。

【自然毒のリスクプロファイル】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

- 有毒植物にも、ご注意ください
→ [有毒植物による食中毒に注意しましょう](#)
- 代表的な有毒植物と毒キノコの特徴は
→ [「自然毒のリスクプロファイル」](#)をご覧ください。
- 一部地域で、キノコから基準値を超える放射性物質が検出されています。
→ キノコ狩りをする場合は、
[放射性物質のモニタリング検査結果や出荷制限などの情報](#)
をウェブサイト等で、確認してください。
→ 林野庁ウェブサイト「[きのこや山菜の出荷制限等の状況について](#)」